

業務主任者等研修会を開催しました



令和4年3月22日・23日

本会主催で、長野県より後援をいただいた令和3年度砂利採取業務主任者等研修会は、長野市の若里市民文化ホール会議室と、松本市の松筑建設会館を会場に、会員事業所から約30名の参加により開催しました。

研修は、「砂利採取法の適正な運用」について、長野県建設部河川課担当係長の阿部仁志氏を講師にお願いし、砂利採取販売事業を行う上で最も基本となる砂利採取法の留意事項について講演をいただきました。また、本会副会長で飯山地区の一山土木工業株式会社代表の丸山功一氏に「砂利プラント場における安全な管理運営」について、構内で使用されるベルトコンベアーでの事故対策や骨材プラントでの安全対策への対応などの講演をいただきました。

砂利採取業務主任者の業務は、従事企業において災害防止に関する監督的立場であり、企業の発展と災害防止の調整を図ることが期待されています。本研修会は、昨年新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、研修会場での安全対策をとり、重要な役割を担う業務主任者の質的向上を目指して開催したもので、砂利採取業者の災害防止能力の確保・高揚を図るうえで有意義な内容となりました。